



たてモン

たてモンが最新トピック
をお知らせするよ

topic 1

住宅省エネルギー設計・施工技術講習会 平成28年1、2月開催分随時申込受付中

国では、平成32年度までに新築住宅に省エネ基準を義務付けるための取組がすすめられています。このため、地域の木造住宅生産を担う大工技能者・施工技術者・建築士など断熱施工に関わる方々を対象に「住宅省エネルギー技術講習会」を開催します。

【受講料】1,000円（講習会当日、受付にて徴収）

【希望者のみ修了証交付】賞状型：1,000円、
カード型：2,000円（当日）

【その他】修了者にはCPD単位として4単位付与

【申込方法】インターネット「住宅省エネルギー技術講習会」
で申し込んで下さい。<http://www.shoene.org>

【開催日時】（13：00～17：25）

＜設計＞・鹿児島会場（鹿児島県住宅供給公社ビル）
1/12, 1/27, 2/9

・川内会場（サンアリーナせんだい）
2/18

＜施工＞・鹿児島会場（鹿児島県住宅供給公社ビル）
1/16, 1/30, 2/13

※設計の鹿児島会場は（公社）鹿児島県建築士会が実施し、その他は住宅センターが実施します。

※設計、施工それぞれ講習内容は異なりますので、どちらか一方しか受けられていない方は、両方ともお受けになることを推奨します。

topic 2

平成27年度第4回住宅・建築制度セミナー 開催のご案内

建築確認、住宅性能評価、長期優良住宅等に関する制度普及を図ることを目的とした、住宅・建築制度セミナーを開催します。今回は、平成25年省エネ基準における外皮平均熱貫流率や日射取得量計算の講習と実務演習を実施します。

実際に設計、申請に携わる方の日頃の不明な点などをこの機会に解決して、今後に役立てていただきたいと思ひます。

【主催】鹿児島県住宅・建築総合センター

【開催日時】H28/1/28(木) 13:30～16:10

【受講対象者】

長期優良住宅や住宅性能評価などの申請に携わる方

【場所】公社ビル2階 住宅情報プラザ「ゆとりぴかごしま」

【定員】概ね15名

【受講料】無料

【カリキュラム（予定）】

時間割	内容	備考
13:30～13:40	住宅・建築物の省エネ性向上を図る必要性について	省エネ性についての国の動向等
13:40～15:00 (10分休憩含む)	外皮平均熱貫流率と日射取得量計算 ①外皮面積算定等の基準と留意事項(30分) ②部位別熱貫流率等の実務演習(30分) ③計算書の作成方法(20分)	外皮計算等の概要、基準、計算、留意事項の説明 ※実際に部位別熱貫流率などの実務演習を行います。
15:00～15:50	建築基準法改正概要、その他制度概要等について	建築基準法改正、すまい給付金や審査部業務案内など
15:50～16:10	質疑応答 各種申請書の書き方などについても遠慮なく質疑してください。	制度や技術基準等について適合判定資格者や評価員が直接応答いたします。

【申込締切】H28/1/26(火)

申込締切前でも、定員になり次第締め切らせていただきます

【受講申込・問合せ先】

TEL:099-224-4548 審査部（岩切・中島）

topic 3

平成27年度地域型住宅グリーン化事業 第2回グループ募集の開始について

平成27年度「地域型住宅グリーン化事業」について、補助事業の適用を受けようとするグループの追加募集が開始されました。

【事業の概要】

地域における資材供給、設計、施工などの連携体制による良質な木造住宅の整備に対して支援する「地域型住宅グリーン化事業」を拡充し、地域の中小工務店等による長期優良住宅等の整備と、それと併せて行う三世帯同居対応工事への支援を緊急的に行います。

【補助対象】

現行の補助要件に加え、調理室、浴室、便所又は玄関のうち、いずれか2つ以上を住宅内に複数箇所設置する住宅（三世帯同居対応住宅）

※現行の補助要件は評価事務局のホームページ参照

【受付期間】

募集受付期間：平成27年12/21(月)～平成28年1/18(月)

【補助限度額（補正予算に係るものに限る）】

- 長寿命型（長期優良住宅）の三世帯同居対応住宅
建設工事費の1割以内の額で、130万円/戸
（地域材を使用する場合には150万円/戸）を上限
- 高度省エネ型（低炭素住宅）の三世帯同居対応住宅
建設工事費の1割以内の額で、130万円/戸
（地域材を使用する場合には150万円/戸）を上限
- 高度省エネ型（ゼロ・エネ住宅）の三世帯同居対応住宅
建設工事費の1割以内の額で、195万円/戸
（地域材を使用する場合には215万円/戸）を上限

【応募に関する問合せ・募集要領の入手・申請書の提出先】

平成27年度地域型住宅グリーン化事業評価事務局

TEL:03-3560-2886 URL: <http://chiiki-grn.jp/>

※高度省エネに関する問合せ先

TEL:03-5579-8251（ゼロエネ審査会）

topic 4

平成28年4月より「建築物省エネ法」に基づく省エネ性能の表示制度が開始予定

所有者の基準適合の認定・表示制度

・認定を受けた建築物、その利用に関する広告等については、認定を受けた旨の表示（基準適合認定マーク）をすることができます。

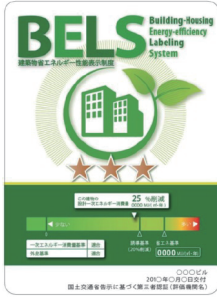
・建築物の所有者は申請により、建築物が省エネ基準に適合している旨の所管行政庁による認定を受けることができます。

法第7条に基づく第三者認証(BELS)と36条行政庁認定の活用イメージ

＜基準レベル以上の省エネ性能をアピール＞

新築時に、特に優れた省エネ性能をアピール

⇒適合性判定（非住宅2,000㎡以上）、届出（300㎡以上2,000㎡未満）、又は誘導基準認定（容積率特例）の申請書類（一次エネルギー消費量算定結果）を用いて、第三者認証(BELS)ラベルを取得し、星表示 ※既存建築物でも活用可能



第7条ガイドライン案を踏まえたデザイン見直し案

→住宅版のBELSも平成28年4月創設予定

＜既存建築物が基準適合していることをアピール＞

既存建築物の省エネ改修をして基準適合とした場合のアピール

⇒法第36条認定を取得し、基準適合している旨の行政庁認定マークを表示



topic 5

平成28年4月1日より既存住宅の増築・改築に係る長期優良住宅認定制度が開始予定

新築住宅に限って認められていた長期優良住宅が、平成28年4月1日より既存住宅の増築・改築についても長期優良住宅認定制度が開始する予定です。

長期優良住宅の認定基準となる性能項目等はいくつかありますが、ここでは代表的な項目2つだけを少しご紹介します。

長期優良住宅認定基準（概要）新築住宅 / 既存住宅の増築・改築の比較

性能項目等	新築住宅に係る認定基準の概要	既存住宅の増築・改築に係る認定基準(案)の概要
劣化対策	劣化対策等級（構造躯体等）の等級3の基準（新築住宅）に適合し、かつ構造の種類に応じた基準に適合 [木造・鉄骨造] ・床下空間の有効高さ確保及び床下・小屋裏の点検口設置など [鉄筋コンクリート造] ・水セメント比を減ずるか、かぶり厚さを増すこと	劣化対策等級（構造躯体等）の等級3の基準（既存住宅）に適合し、かつ構造の種類に応じた基準に適合 [木造・鉄骨造] 同左（一定の条件を満たす場合は床下空間の有効高さ確保を要しない） [鉄筋コンクリート造] 同左（中性化深さの測定によることも可能）
耐震性	以下のいずれか ・耐震等級（倒壊等防止）等級2の基準（新築住宅）に適合すること。 ・耐震等級（倒壊等防止）等級1の基準（新築住宅）に適合し、かつ安全限界時の層間変形を1/100（木造の場合1/40）以下とすること。 ・住宅品確法に定める免震建築物であること。	以下のいずれか ・耐震等級（倒壊等防止）等級1の基準（既存住宅）に適合すること。 ・住宅品確法に定める免震建築物であること。

topic 6

平成27年度 消費者向け住宅リフォームセミナー開催のお知らせ

リフォームの流れや工事トラブル防止のポイント、リフォームしたら減税になる制度など、リフォームの際に役立つポイントをわかりやすく解説します。

【主催】鹿児島県住宅リフォーム推進協議会 / 一般社団法人住宅リフォーム推進協議会

【後援】

鹿児島県 / 公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター

【日時】平成28年1月16日（土）

【会場】公社ビル1階 中会議室

【講義内容】

1. 住宅リフォームの進め方
2. 住宅リフォームの減税制度などのご紹介

【申込方法】

住宅センターのホームページトップ画面のトピック欄よりお進みください。

【問合せ先】

鹿児島県住宅リフォーム推進協議会 事務局

鹿児島県住宅・建築総合センター（柚木）TEL:099-224-4543



公益財団法人
鹿児島県住宅・建築総合センター

鹿児島県鹿児島市新屋敷町16番228号
TEL(代表) 099-224-4539 FAX 099-226-3963
<http://kjc.or.jp/>